

2019年12月16日 週刊住宅

「セーフティネット 九州で登録開始」

セーフティネット
九州で登録開始
ビレッジハウス

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区、共同経営責任者・岩元龍彦氏、工藤健亮氏)はこのほど、福岡県内で展開する賃貸物件「ビレッジハウス」の住宅セーフティネットへの登録を開始した。九州での登録は初めて。大牟田市や福岡市など19物件・1610戸を登録する。

住宅セーフティネットは、高齢者や障がい者、子育て世帯、シングルマザー、生活保護受給者などに空き家・空き室を活用して住宅を提供するもので12月5日時点の全国登録数は1万6107戸。そのうち大阪府が6605戸、福岡県1653戸、愛知県1315戸などとなっている。

国土交通省は20年までに17万5000戸の登録を目指している。ビレッジハウスは全国で9127戸を登録済み。